

代表者名	工藤雅一	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	小坂町十和田湖字鉛山無番地	設立年月日	平成9年12月5日

【沿革及び県の出資理由】

歴史的・文化的価値の高い十和田ホテルを後世に伝えるとともに、同ホテルの効率的な運営を図り、もって十和田地域の観光の振興に寄与することを目的に県等の出資により平成9年12月設立。

【出資者】（24年度当初） (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	100,000	40.0
市町村	3	25,000	10.0
その他	15	125,000	50.0
計	19	250,000	100.0

【事業】

①主たる業務

十和田ホテルの諸施設の管理運営業務
酒類、食料品、土産物等の販売
上記各号に付帯する一切の業務

②事業実績 (人)

事業名等	21年度	22年度	23年度
宿泊客	16,374	16,975	12,226

③23年度事業概要及び24年度事業計画・目標

大震災の影響により売上減少を余儀なくされたが、冬期間の営業休止、ランチ・入浴休憩の休止等により、事業採算性を重視した経営を行った。
その結果、宿泊客は12,226名(前期比△4,749名△28.0%)、休憩客は1,997名(前期比△5,797名△74.4%)、売上高は194百万円(前期比△107百万円△35.6%)となったが、経常利益は667千円(△5.3百万円)と単年度黒字を確保した。
本年度も、引き続き、黒字経営を達成すべく、商品ラインアップの強化により売上の拡大とローコストオペレーションの更なる推進を実施する。

【組織】

①役員数 (H24. 7. 1現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	8	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	1	

②職員数 (H24. 4. 1現在) (人)

正職員	7	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者			
出向職員			
内、県職員		33.1歳	5.7年
臨時・嘱託			
内、県退職者			
計	7	正職員平均年収	3,300千円
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	2人
役員報酬支給対象者平均年齢	58歳
平均役員報酬額	5,700千円/年

【財務】

①損益状況 (23年度) (千円)

	金額
経常収入 A	194,458
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	194,166
運用益収入	
その他	292
経常支出 B	193,791
人件費	66,309
その他	127,482
経常損益 C = A - B	667
経常外収入	
経常外支出・諸税	300
当期損益	367

②財務状況 (23年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	80,991	95.5
固定資産	3,791	4.5
資産計	84,782	100.0
流動負債	5,902	7.0
短期借入金		
固定負債	30,000	35.4
長期借入金	30,000	35.4
負債計	35,902	42.3
資本金	250,000	294.9
剰余金	△ 201,120	△ 237.2
純資産計	48,880	57.7
負債・純資産計	84,782	100.0

	(千円)
県の損失補償額	
県の債務保証額	

	(千円、%)		
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
			%

【県の財政支出】

	21年度	22年度	23年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	21年度	22年度	23年度	21-22増減	22-23増減
健全 展全 性性	自己資本比率	%	71.80	79.20	57.65	7.40	△ 21.55
	借入金依存率	%	0.00	0.00	35.38	0.00	35.38
	流動比率	%	304.38	434.41	1,372.26	130.03	937.85
	経常収入額	千円	311,682	301,675	194,458	△ 10,007	△ 107,217
収益 性	剰余金（△欠損金）	千円	△ 207,230	△ 201,487	△ 201,120	5,743	367
	経常利益率	%	△ 7.47	2.00	0.34	9.47	△ 1.66
	総資本利益率	%	△ 39.06	9.86	0.79	48.92	△ 9.07
効率 性	総資本回転率	%	5.23	4.92	2.29	△ 0.31	△ 2.63
	職員1人当たり経常収入	千円	8,706	11,603	8,102	2,897	△ 3,501
	人件費比率	%	38.52	34.31	34.10	△ 4.21	△ 0.21

2 経営目標の達成状況

経営目標			21年度	22年度	23年度	24年度
経営 改善 指標	経常利益額（千円）	目標	5,110	264	△ 13,328	7,600
		実績	△ 23,270	6,042	667	
事業 成果 指標	売上高経常利益率（%）	目標	1.4	0.0	△ 6.8	3.6
		実績	△ 7.5	2.0	0.3	
事業 成果 指標	売上高（千円）	目標	369,600	298,464	193,780	215,000
		実績	311,491	301,643	194,166	
事業 成果 指標	個人客宿泊人数（人）	目標	14,170	11,919	8,720	11,140
		実績	12,445	11,989	10,449	
顧客満足度指数	目標	88	90	89	89	
	実績	87	88	88		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成23年度は東日本大震災の影響により売上減少を余議なくされたが、震災後に立てた計画に比べ、売上は386千円増の194,166千円、経常利益は13,995千円増の667千円となるなど、事業採算性を重視し冬期間営業及び休憩営業を休止したことにより黒字計上することができた。平成24年度も黒字経営を達成すべく、商品ラインアップの強化により売上の拡大とローコストオペレーションの更なる推進を図る。

〈顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組〉

安心・安全・清潔・快適の提供

- ・ 客室の外気の臭いの消臭→新型オゾン消臭機の活用
- ・ 大浴場脱衣室の絨毯交換実施

- ・ 和室畳の交換実施
- ・ 客室清掃・メンテナンスの質の向上

4 総合評価（計算書類等の資料による評価）

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<p>・ 東日本大震災の影響により宿泊客数が大幅に減少し、経常収入が107百万円減少したが、不採算事業を休止したことに加え人件費等固定費削減に努め、経常支出を101百万円減少させた結果、赤字を回避し、少額ではあるが、最終利益367千円を計上し累損解消には、一定金額の利益確保が必須であり、宿泊客の増加策が急務である。</p>	